

プログラミング演習Ⅰ

プログラミング演習Ⅰ

2単位 (選択) 2年 (後期)

鍋島 克輔・准教授 / 総合理数学科

【授業目的】 本演習では、最も多用されているプログラミング言語の1つであるC言語について、文法やプログラミング技法を初歩から演習を行うことで、修得し、使いこなせるようになることを目的とする。

【授業概要】 C言語による基本的プログラミング技法の修得

【キーワード】 プログラミング, C言語

【先行科目】 [先行科目]

【関連科目】 [関連科目]

【履修上の注意】 受講者はデータ保存のため、各自でUSBメモリーもしくは、3.5インチフロッピーディスクを用意すること。

【到達目標】 C言語の基本仕様を修得し、種々のアルゴリズムがC言語でプログラミングできるようになる。

【授業計画】

1. C言語とは&プログラム開発環境の操作方法
2. データの型
3. 入出力関数
4. 制御文 if else
5. 制御文 for
6. 制御文 while
7. 制御文 switch
8. 配列
9. 関数
10. 関数
11. プログラムの作成
12. プログラムの作成
13. メモリとアドレス (ポインタの基本)
14. プログラムの作成
15. プログラムの作成

【成績評価】 レポート問題を課し、それによって成績を評価する。

【再試験】 行わない

【教科書】 新版 明解C言語入門編 柴田望洋 ソフトバンク・クリエイティブ

【参考書】 [参考資料]

【授業コンテンツ】 <http://cms.db.tokushima-u.ac.jp/cgi-bin/toURL?EID=218987>

【連絡先】

⇒ 鍋島 (nabesima@ias.tokushima-u.ac.jp) MAIL

プログラミング演習 I

2 units (selection) 2nd-year(2nd semester)

Katsusuke Nabeshima · ASSOCIATE PROFESSOR / DEPARTMENT OF MATHEMATICAL AND MATERIAL SCIENCES

Target 本演習では、最も多用されているプログラミング言語の1つであるC言語について、文法やプログラミング技法を初歩から演習を行うことで、修得し、使いこなせるようになることを目的とする。

Outline C言語による基本的プログラミング技法の修得

Keyword *programming, C (programming language)*

Fundamental Lecture [先行科目]

Relational Lecture [関連科目]

Notice 受講者はデータ保存のため、各自でUSBメモリーもしくは、3.5インチフロッピーディスクを用意すること。

Goal C言語の基本仕様を修得し、種々のアルゴリズムがC言語でプログラミングできるようになる。

Schedule

1. C言語とは&プログラム開発環境の操作方法
2. データの型
3. 入出力関数
4. 制御文 if else
5. 制御文 for
6. 制御文 while
7. 制御文 switch
8. 配列
9. 関数
10. 関数
11. プログラムの作成
12. プログラムの作成
13. メモリとアドレス (ポインタの基本)
14. プログラムの作成
15. プログラムの作成

Evaluation Criteria レポート問題を課し、それによって成績を評価する。

Re-evaluation 行わない

Textbook 新版 明解C言語入門編 柴田望洋 ソフトバンク・クリエイティブ

Reference [参考資料]

Contents <http://cms.db.tokushima-u.ac.jp/cgi-bin/toURL?EID=218987>

Contact

⇒ Nabeshima (nabesima@ias.tokushima-u.ac.jp) MAIL